

もりもりクラブ森の体験教室活動報告書

開催日：令和5年6月30日（金）

活動場所：公社造林地（事業番号：81099 美作市古町チウジダニマシムン地内）

参加者：小人29名、大人2名（美作市立大原小学校小学5年生及び関係職員）

関係者：月見山の会会長、本田大原公民館長、（有）森岩木材職員4名

タイムスケジュール

時間	場所	内容
8:50	大原小学校	出発
		移動
9:00	公社造林地入口	開会挨拶、関係者紹介
		移動
9:20	公社造林地作業場所	間伐説明及び間伐作業見学
10:20	〃	質疑応答
		移動
10:50	〃	写真撮影、記念品贈呈、閉会挨拶
11:00	公社造林地入口	解散

- 雨天続きの天気であったため、当日は現場の作業道に多少ぬかるみがあり、一部歩きづらい箇所があったが、雨が降ることなく、体験教室を開催することができた。
- 実際に山に登ってもらい、冊子を活用して、間伐の効果や伐採及び造材方法を子どもたちに説明を行った。
- 森岩木材職員により、チェーンソー、フェラーバンチャによる伐倒作業及びプロセッサによる造材作業を行って頂き、子どもたちに現場作業のやりがいや大変さをも学んでもらった。
- 質疑応答コーナーでは想像以上に質問があり、意欲的に課外活動に参加していることがわかった。

（質問内容抜粋）

「木はいくらで売れますか」「市場には一度に何本くらい持っていきますか」

「フェラーバンチャはいくらくらいしますか」「林業で使う重機は何種類くらいありますか」

「山ではどんな動物に会いますか」「林業をする上で大切にしていることはなんですか」

「病気になった木はどうするのですか」「1日にどれくらいの木を伐りますか」

- 間伐を定期的に行うことによって地球環境にやさしい山づくりができ、社会に貢献していることを伝え、間伐の大切さを学んでもらうことができた。
- 最後に子どもたちと先生に記念品として手作りの木製キーホルダーをプレゼントし、喜んでもらった。

